



はじめまして、こんにちは。

長野県・志賀高原のふもと

山ノ内町に住んでおります、

「せんぜもん」と申します。

昭和30年代に生まれた私。

時代は超特急で変化し、

言葉にならないことが多い現代。

溢れる情報の世界で、人はいったい何処へ

行くのか？ 安心とは？ 幸福とは？

人々の不変の思いや願ってなんだろう。

先人や、古き良き文化の中に隠された

言葉にならないことは…

清く、美しく—

せんぜもん

この中から  
いくつか組み合わせて  
ご覧頂けます

## レポーター

### ●小さな人形劇「花菜畑」

…ちりめん細工の立ち人形を使って

### ●一人芝居「一茶まんだら」

…小林一茶の生涯を一人5役で演じます

### ●民俗芸能「北信濃風土記」

…四季の移り変わりを民舞と芝居で

### ●ひとり三十路青年団

…歌と芝居の吟遊舞台

事前(事後)交流会として

「日本の美」を祈りや願いととも…

踊り、太鼓、空手のブチ稽古や、ちりめん細工、和食(鯉のたたきづくり)など

# 言葉に ならない ことばかり



せんぜもん 一人劇場

せんぜもん / 中野哲良(なかののりよし)

昭和37年(1962)年、東京都青梅市生まれ。高校時代は空手「形」で2年連続インターハイ優勝。昭和60年より中国「上海外語学院」へ留学し、言語を学ぶかたわら、アジア各地で武術や芸能を取材。帰国後、日本の民俗芸能に興味を抱き、民族歌舞団へ入団。同時期、ルドルフシュタイナーの提唱する、バイオ・ダイナミック農法の農業研修を受け、アジア各地で垣間みた「農業と生活の中の芸術」をめざし、信州へ。北信濃の自然、文化、人情に育まれ、長野県北部を中心に「せんぜもん」の名で市町村での公演や芸能指導、学校公演や地域の芸能文化や子どもたちの育成にも取り組んでいる。

【過去の主な活動】

イギリス・プリストル: シュタイナー学校における公演

フランス・コルマル: アルザス・日本友好関係150周年記念祭における公演とワークショップ